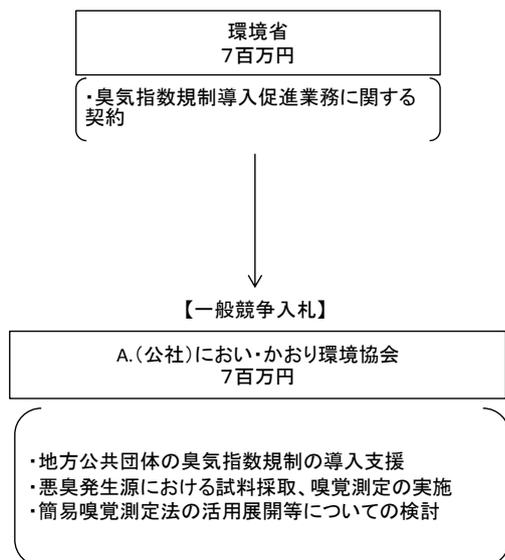


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	悪臭公害防止強化対策費		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者	室長事務取扱 眞先 正人	
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度～		担当課室	大気生活環境室				
会計区分	一般会計		政策・施策名	3. 大気・水・土壤環境等の保全 3-2 大気生活環境の保全				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	悪臭防止法第17条第2項		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	<p>悪臭苦情は、これまで大部分を占めていた畜産農業や製造工場からの苦情が減少する一方、サービス業や個人住宅など都市生活に伴うにおいへの苦情が増加している。こうした悪臭苦情の多様化・複雑化に対処するため、平成7年の悪臭防止法改正により導入された臭気指数規制の導入促進が求められる。</p> <p>本事業は、環境省が開発した簡易嗅覚測定法の普及や、嗅覚測定法の測定方法の見直しを行うことにより、臭気指数規制のより一層の促進を目的とするものである。</p>							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・臭気指数規制を導入予定の自治体に対しアドバイスをを行い、各自治体で採取した公定法・簡易法のデータを元に簡易法の精度向上に向けて調査を行った。 ・今後の簡易嗅覚測定法の活用展開の可能性、公定法の改良の可能性について検討を行った。 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	16	13	8	8	8	
	執行額	17	14	7				
	執行率 (%)		106.3	107.7	87.5			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (27年度)
	臭気指数による規制地域を有する市町村数		成果実績	-	388	428	調査中	500
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	発行したマニュアル(簡易測定/業種別マニュアル)		活動実績 (当初見 込み)	種	0 (1)	1 (1)	0 (0)	- (0)
	簡易な嗅覚測定法検討会(～H23) 嗅覚測定法に関する検討会(H24)		活動実績 (当初見 込み)	回数	3 (3)	3 (3)	3 (3)	- (5)
	臭気指数規制ガイドライン等地方公共団体説明会参加 者数		活動実績 (当初見 込み)	人	127 (170)	- ()	- ()	- ()
単位当たり コスト	2,233,253 (円/回)		算出根拠	単位当たりのコスト＝ 臭気指数規制導入促進業務費6,699,760円)／嗅覚測定法に関する検 討会開催数(3回)				
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費		8	8	-			
	計		8	8				

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	悪臭は住民の生活に根付いた問題であり、畜産農業などへの苦情よりも生活に伴う悪臭への苦情数が増えてきており、悪臭苦情の多様化・複雑化が問題となっている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	総合評価落札方式による入札を行ったが、仕様書の作成にあたって、競争性が確保されるよう配慮した。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業性の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	悪臭に対する苦情はここ数年減少傾向にあり、成果が出ているとみられる。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>悪臭に係る苦情件数は近年減少傾向にあるが、平成23年度悪臭防止法施行状況調査によると、平成23年度の苦情件数は全国で14,569件(前年度15,194件)であり、未だに高い水準にあり、国民の悪臭対策に対するニーズは高い。</p> <p>また、悪臭規制については22種類の特定悪臭物質濃度による規制と、臭気指数による規制の2種類ある。近年増加している都市・生活型悪臭苦情に速やかに対応できる臭気指数規制について、国として導入の促進を進めているが、導入率は全国で3割にとどまっている。</p> <p>そのため、悪臭苦情処理を行う各自治体に対して国が、悪臭防止行政を進める上で必要な情報の提供、及び臭気指数規制に関する正確な知識を普及することが今後必要である。</p>					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効果的・効率的な執行に努めるとともに、成果を分かりやすく取りまとめること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効果的・効率的な執行に努め、事業成果については、分かりやすく取りまとめる工夫ができるか検討を行う。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	064	平成23年	050	平成24年	049

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(公社)におい・かおり環境協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	人件費	3			
間接費	一般管理費、技術料	1			
消耗品費	測定機材等	1			
旅費	交通費、宿泊費	1			
その他	検討会委員謝金等	1			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公社)におい・かおり環境協会	平成24年度臭気指数規制導入促進業務	7	1	99%